

イファッド
国際農業開発基金 (IFAD)

日本連絡事務所開所式に山中竹春横浜市長が登壇します

横浜市は、みなとみらいのパシフィコ横浜内に横浜国際協力センターを設立し、国際機関や横浜市の国際化を促進する団体等に入居いただくとともに、その活動を支援することを通じて、国際交流や国際理解の促進を図っています。

国際連合の専門機関の一つである国際農業開発基金（略称 IFAD）の日本連絡事務所は、令和3年11月に横浜国際協力センター内に開設され、日本政府との連絡調整業務や横浜市民向けの普及啓発イベントの開催を行っています。

このたび、10月にIFAD新総裁に着任したアルバロ・リオ氏の来日に合わせ、令和4年11月18日（金）に日本連絡事務所開所式が行われます。開所式には山中 竹春 横浜市長が登壇します。

1. IFAD 日本連絡事務所開所式について

(1) 開催日時

令和4年11月18日（金）9時15分～9時45分

(2) 場所

Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO（横浜国際協力センター6階）

(3) プログラム

・総裁及び来賓挨拶

アルバロ・リオ IFAD総裁、外務省代表、農林水産省代表、国連大学(UNU)代表、山中 竹春 横浜市長

・来賓紹介

・リボンカット

(4) 使用言語

日本語、英語（同時通訳あり）

開所式の取材を希望する場合は11月17日（木）14時までに、以下にご連絡ください。

IFAD 日本連絡事務所パートナーシップ担当官 加藤 真理子

e-mail : ma.kato@ifad.org Tel : 080-7095-1730

IFAD 日本連絡事務所広報担当 岡部桂子

e-mail : japanliaison@ifad.org Tel : 090-8372-2898

2. 国際農業開発基金 (IFAD) について

正式名称 : International Fund for Agricultural Development

設立 : 昭和52(1977)年

加盟国数 : 177か国(2022年11月現在)

総 裁 : アルバロ・リオ

本 部 : イタリア・ローマ

活動目的 : 貧しい国の農村地帯の貧しい人々が食料と栄養の安全保障を改善し、所得を増やし、経済的に強靱化できるようにするための活動資金の融資等の支援



3. IFAD 日本連絡事務所について

IFAD 日本連絡事務所は新興国における飢餓及び貧困を削減するため小規模農家に投資する重要性を発信し、日本のパートナーと協働することを目的としており、ワシントン、ニューヨーク、リヤドに続き世界で 4 か所目の連絡事務所として開所されました。令和 3 年 11 月 15 日の開所以来、IFAD と本市は東京栄養サミット 2021 サイドイベントでの連携等、食料問題の解決などに向けた取り組みを継続して実施しています。

所在地：

横浜市西区みなとみらい 1 - 1 - 1 横浜国際協力センター 6 階

日本連絡事務所の主な役割：

日本政府、地方自治体、企業等日本の関係者との間の調整や、日本における IFAD の活動について PR を行う。

4. アルバロ・ラリオ IFAD 総裁について

学術、民間セクターのアセットマネジメント、世界銀行グループや国際連合システムにおいて活躍し、IFAD では副総裁補(AVP)として財務管理分門を統括した。令和 4 年 10 月に総裁就任。

ラリオ氏の指導のもと、IFAD は資本市場に参入して信用格付けを取得した最初の国連基金となり、組織の資金動員の取り組みを民間部門に拡大することを可能にした。



IFAD と連携したこれまでの主な取組



<横浜国際協力センター30周年記念イベント> (令和 3 年 7 月)



<IFAD 主催オンラインイベント> (令和 3 年 11 月) >



<世界食料デーイベント> (令和 4 年 10 月) >

お問合せ先

国際局国際協力課長 佐藤 亮太郎 Tel 045-671-2078